

平成27年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

「帯広市における調査結果の状況」

はじめに

帯広市教育委員会では、平成20年度に国が初めて全ての小学5年生、中学2年生を対象に調査実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を受けて、児童生徒が積極的に運動に親しみ、体力・運動能力等の向上を図る教育活動や教育課程、指導方法の具体的な改善点などを明らかにしてまいりました。

また、体力・運動能力等は食生活等の生活習慣と関わりが深いことから、児童生徒保護者向けに、望ましい食習慣に関するリーフレットや食育レシピ集を作成・配付するなど、啓発活動に努めるとともに、国の調査が抽出校のみの調査となった平成22年度をきっかけに、帯広市教育委員会としては本市の児童生徒の体力・運動能力の概要について独自に実態を把握し、今後の指導の工夫改善を図るため、「新体力テスト」を活用して「帯広市体力・運動能力調査」を実施しております。

今年度、本調査は、昨年度に続き国の悉皆調査として実施された結果から、次のとおり本市の概況をまとめました。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査対象

◆小学校調査 小学校第5学年の児童

◆中学校調査 中学校第2学年の生徒

3. 調査実施の時期

平成27年4月から7月末までの期間で実施

4. 調査内容

(1) 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（測定方法等は新体力テストと同様）

小学校調査 [8種目]	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20メートルシャトルラン、50メートル走、立ち幅とび、ソフトボール投げ
中学校調査 [8種目]	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20メートルシャトルラン、50メートル走、立ち幅とび、ハンドボール投げ (※持久走か20メートルシャトルランのどちらかを選択)

※文部科学省が国民の体力・運動能力の現状を明らかにするために、平成11年度から実施している「新体力テスト」の8種目を実施。(詳細は文部科学省ホームページ参照)

※ボール投げは、小学生ソフトボール、中学生ハンドボールで実施

イ 質問紙調査

(2) 学校に対する質問紙調査

5. 調査の方法

悉皆調査

6. 調査に参加した学校・児童生徒数

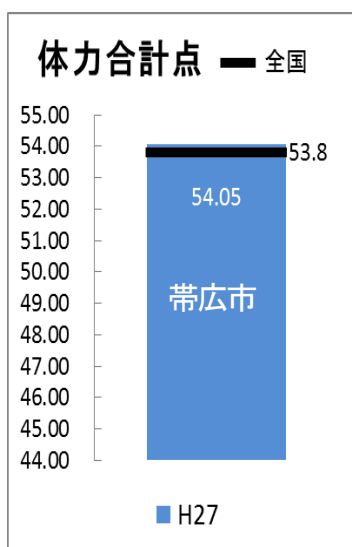
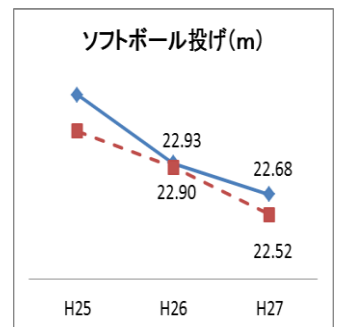
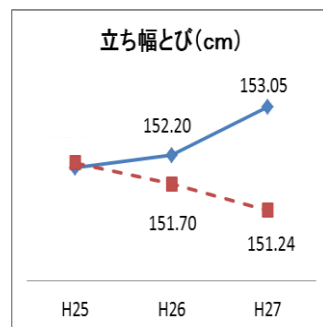
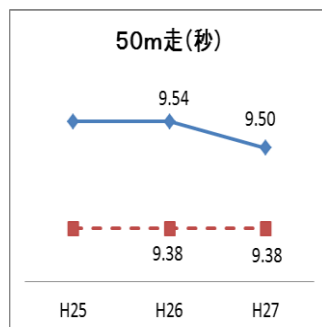
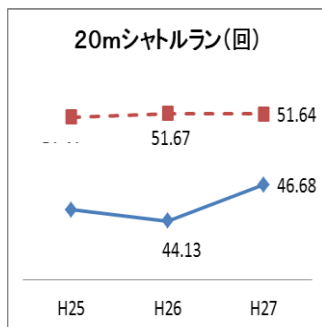
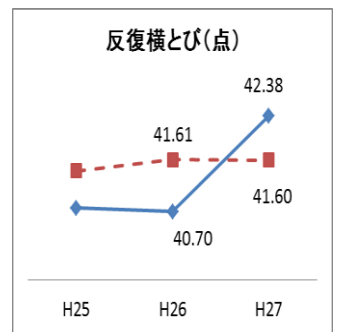
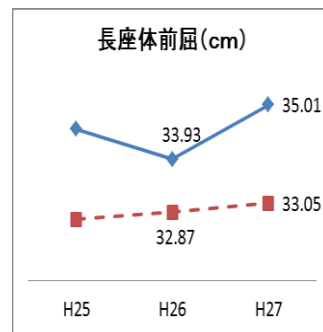
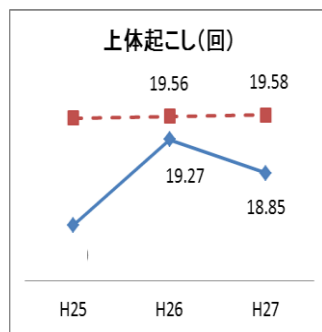
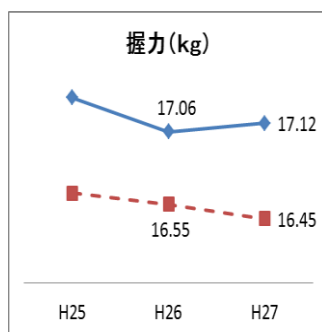
H27	参加小学校数	児童数	参加中学校数	生徒数
全国(公立)	20,259	1,055,897	10,027	1,008,414
北海道(公立)	1,088	41,749	633	42,098
帯広市	26	1,358	14	1,395

7. 実技に関する調査結果

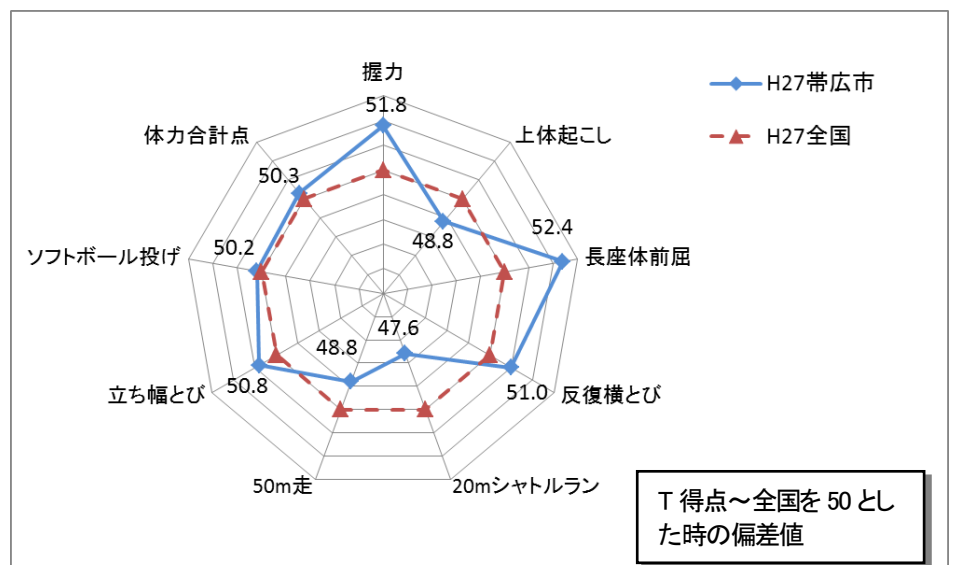
(1) 小学校男子

①体力合計点及び各種目の記録

		握力(kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シヤ トルラン(回)	50m 走(秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボー ル投げ(m)	体力合計点
H27 帯広市	記録	17.12	18.85	35.01	42.38	46.68	9.50	153.05	22.68	54.05
	全国との差	0.67	▲ 0.73	1.96	0.78	▲ 4.96	▲0.12	1.81	0.16	0.25
H27 全国	記録	16.45	19.58	33.05	41.60	51.64	9.38	151.24	22.52	53.80



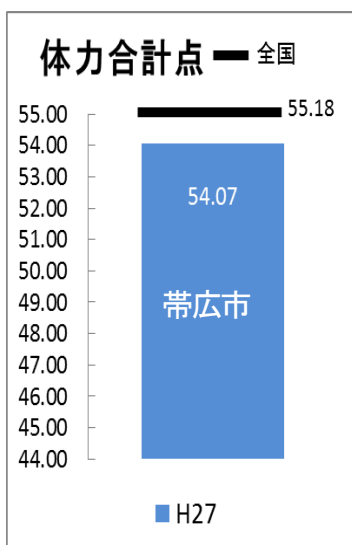
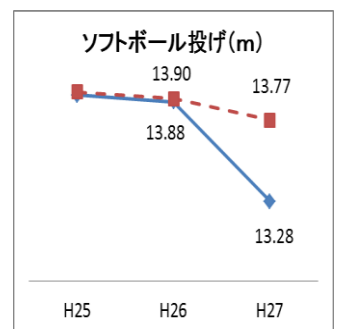
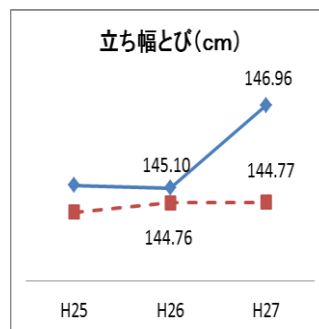
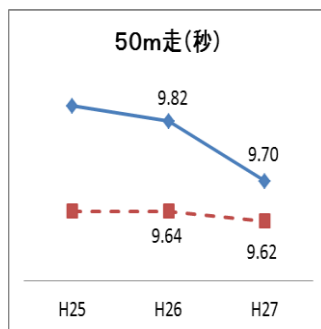
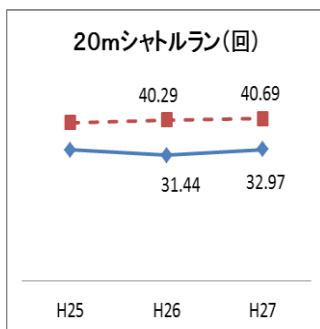
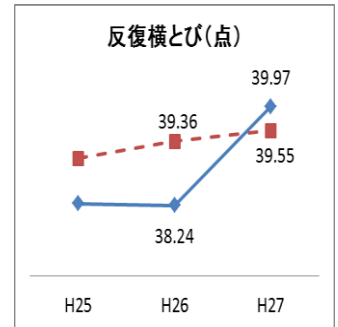
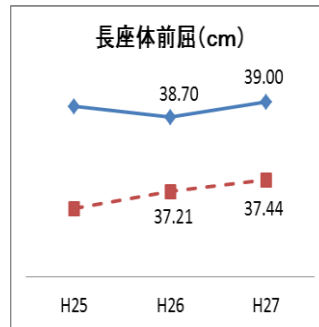
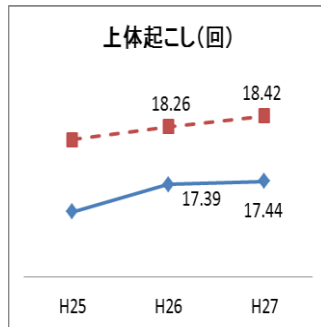
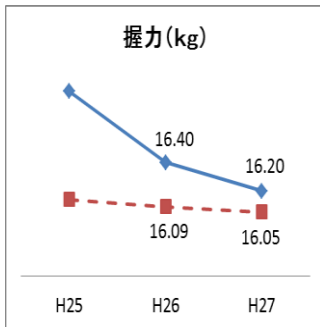
②各種目の昨年度及び全国との比較 (T得点)



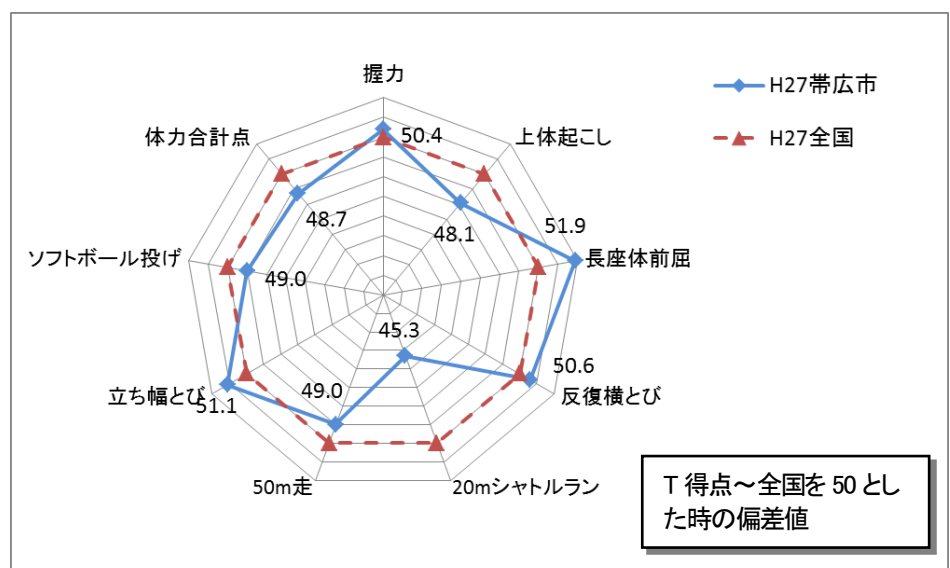
(2) 小学校女子

①体力合計点及び各種目の記録

		握力(kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点
H27 帯広市	記録	16.20	17.44	39.00	39.97	32.97	9.70	146.96	13.28	54.07
	全国との差	0.15	▲ 0.98	1.56	0.42	▲ 7.72	▲0.08	2.19	▲ 0.49	▲ 1.11
H27 全国	記録	16.05	18.42	37.44	39.55	40.69	9.62	144.77	13.77	55.18



②各種目の昨年度及び全国との比較 (T得点)

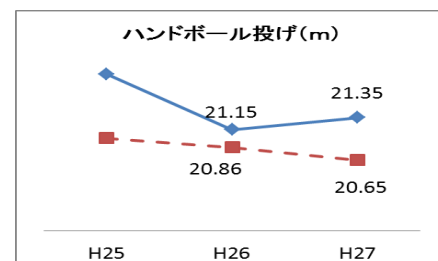
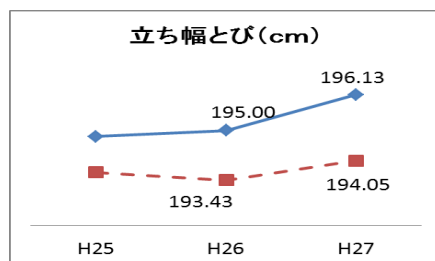
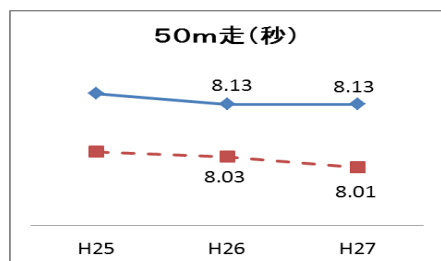
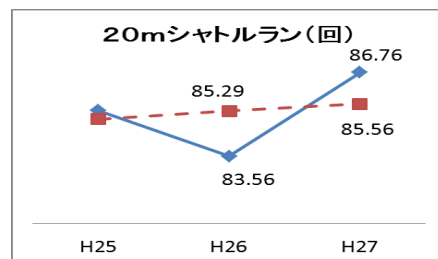
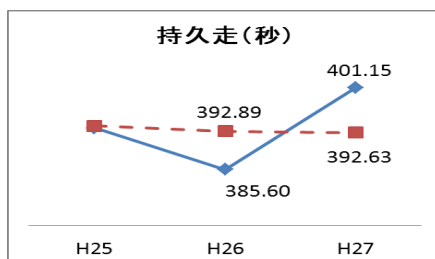
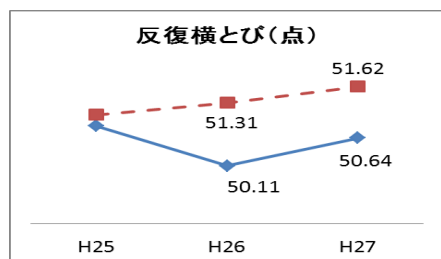
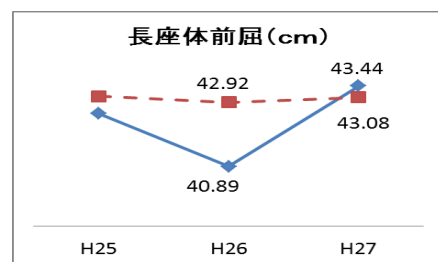
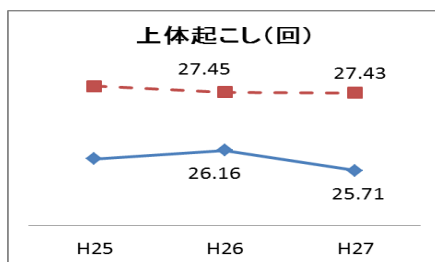
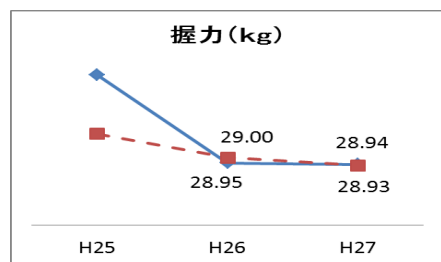


体力合計点～8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点。

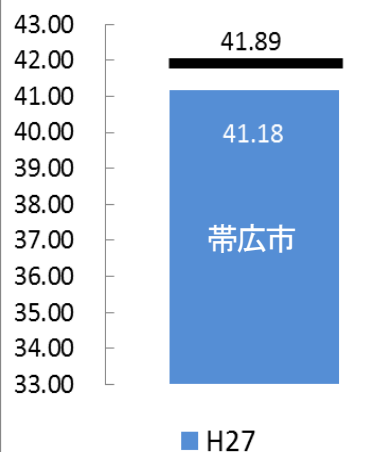
(3) 中学校男子

①体力合計点及び各種目の記録

		握力(kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	持久走 (秒)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボー ル投げ(m)	体力合計点
H27 帯広市	記録	28.94	25.71	43.44	50.64	401.15	86.76	8.13	196.13	21.35	41.18
	全国との差	0.01	▲ 1.72	0.36	▲ 0.98	▲8.52	1.20	▲0.12	2.08	0.70	▲ 0.71
H27 全国	記録	28.93	27.43	43.08	51.62	392.63	85.56	8.01	194.05	20.65	41.89

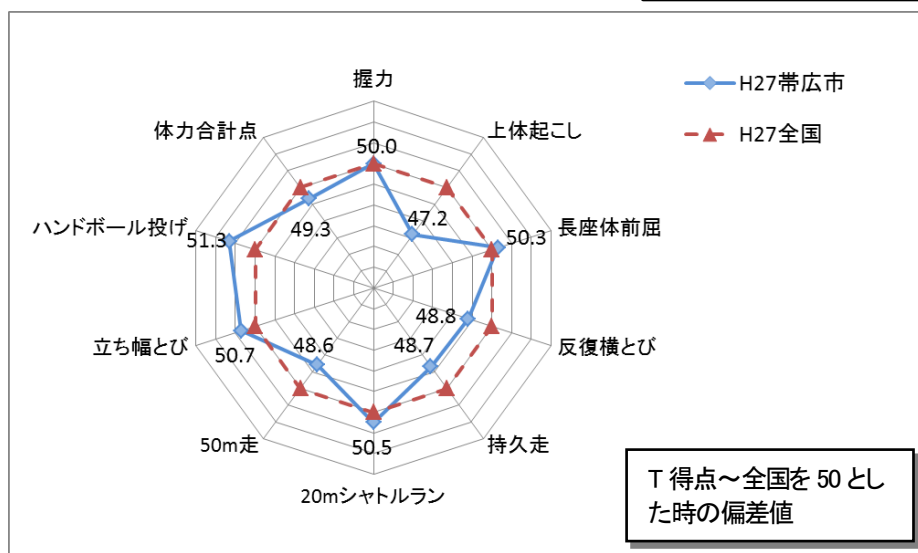


体力合計点 ー 全国



体力合計点～8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点。

②各種目の昨年度及び全国との比較 (T得点)

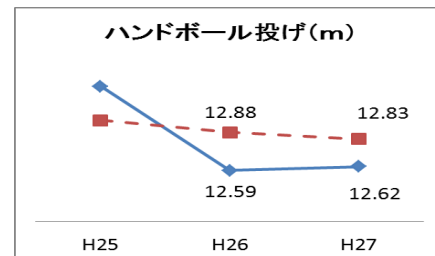
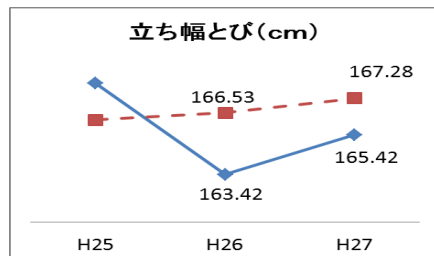
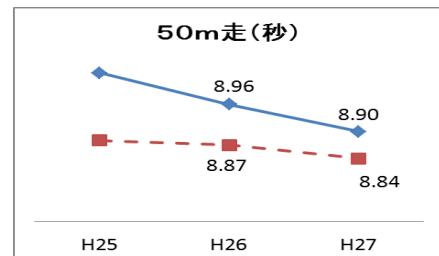
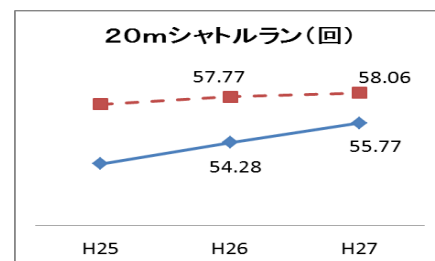
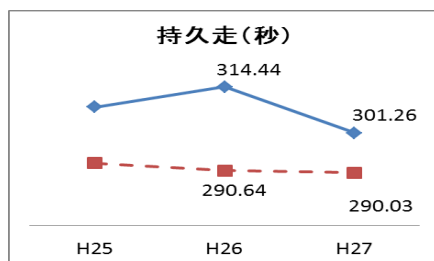
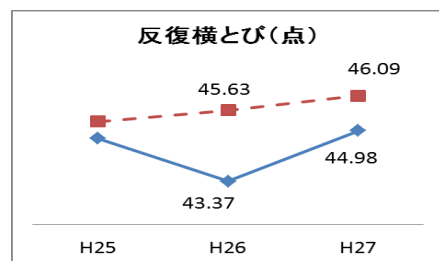
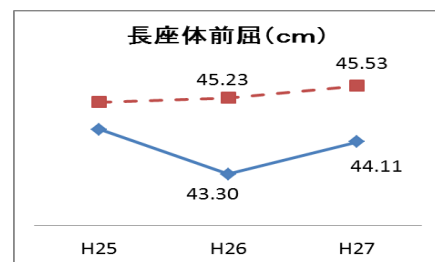
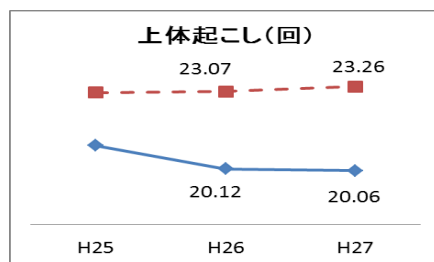
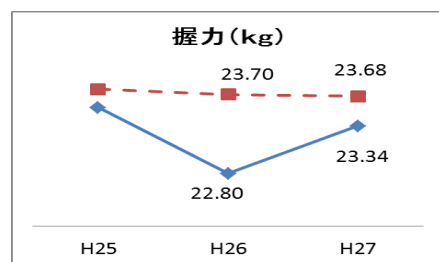


T得点～全国を50とした時の偏差値

(4) 中学校女子

①体力合計点及び各種目の記録

		握力(kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	持久走 (秒)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ(m)	体力合計点
H27 帯広市	記録	23.34	20.06	44.11	44.98	301.26	55.77	8.90	165.42	12.62	46.22
	全国との差	▲ 0.34	▲ 3.20	▲ 1.42	▲ 1.11	▲11.23	▲ 2.29	▲0.06	▲ 1.86	▲ 0.21	▲ 2.86
H27 全国	記録	23.68	23.26	45.53	46.09	290.03	58.06	8.84	167.28	12.83	49.08

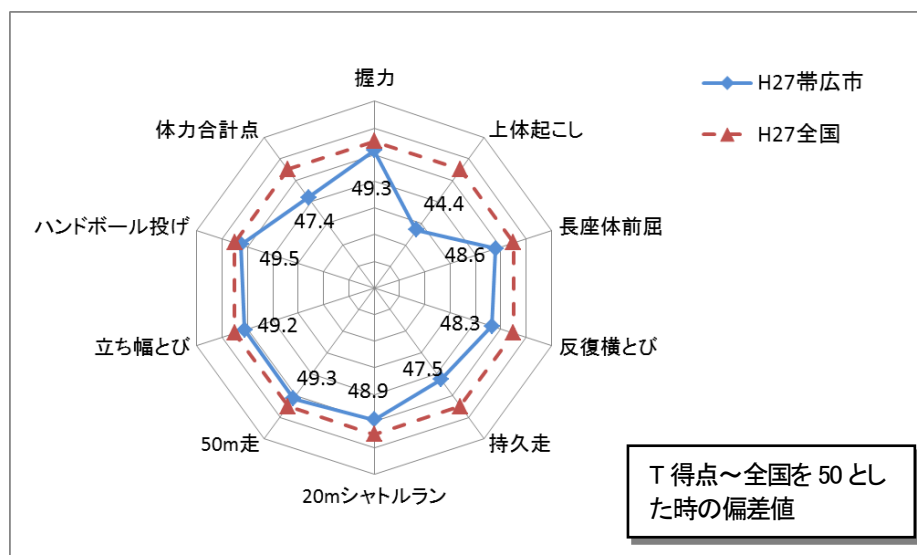


体力合計点 — 全国



体力合計点～8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点。

②各種目の昨年度及び全国との比較 (T得点)



T得点～全国を50とした時の偏差値

8. 児童生徒質問紙調査の状況

(単位は%)

- (1) 「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合は、いずれも全国平均よりも高い。 ※ () は全国との差

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
H27 帯広市	78.3 (+4.3)	57.3 (+0.9)	68.8 (+3.8)	55.9 (+7.9)
H27 全国	74.0	56.4	65.0	48.0

- (2) 「運動部(部活動)やスポーツクラブに入っている(所属している)」と回答した児童生徒の割合は、小中・男女いずれも全国平均よりも低い。 ※ () は全国との差

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
H27 帯広市	64.9 (▲7.1)	45.7 (▲4.5)	77.0 (▲0.6)	51.4 (▲5.6)
H27 全国	72.0	50.2	77.6	57.0

- (3) 「家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられる」と回答した児童生徒の割合は、中学校女子以外、いずれも全国平均よりも低い。 ※ () は全国との差

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
H27 帯広市	25.4 (▲2.9)	15.4 (▲2.4)	17.1 (▲4.3)	17.6 (+2.8)
H27 全国	28.3	17.8	21.4	14.8

- (4) 「体育または保健体育の授業のはじめに授業の目標(めあて・ねらい)が示されている」と回答した児童生徒の割合は、小学校男女で全国平均よりも高い。

※ () は全国との差

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
H27 帯広市	49.5 (+3.2)	52.4 (+7.7)	42.8 (▲9.1)	47.0 (▲2.3)
H27 全国	46.3	44.7	51.9	49.3

- (5) 「体育または保健体育の授業の最後に今日学んだ内容をふり返る活動を行っている」と回答した児童生徒の割合は、小中・男女いずれも全国平均よりも低い。

※ () は全国との差

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
H27 帯広市	20.5 (▲7.4)	19.0 (▲6.8)	22.0 (▲15.9)	26.5 (▲11.5)
H27 全国	27.9	25.8	37.9	38.0

9. 学校質問紙調査の状況

(単位は%)

- (1) 体育の授業以外で全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行っている学校の割合は、小学校では全国平均よりも低く、中学校では全国平均よりも高い。

※ () は全国との差

	小学校	中学校
H27 帯広市	88.5 (▲0.8)	64.3 (+0.6)
H27 全国	89.3	63.7

- (2) 児童生徒の体力・運動能力向上のための学校全体目標を、学年としての目標と別に設定している学校の割合は、小中いずれも全国平均よりも高く、特に中学校では大きく上回っている

※ () は全国との差

	小学校	中学校
H27 帯広市	65.4 (+2.6)	71.4 (+17.1)
H27 全国	62.8	54.3

- (3) 各家庭に、子どもの体力向上に係る説明・呼びかけ等を行っている学校の割合は、小中いずれも全国平均よりも非常に高い。

※ () は全国との差

	小学校	中学校
H27 帯広市	88.5 (+20.7)	69.2 (+25.1)
H27 全国	67.8	44.1

- (4) 新体力テストを調査対象の学年以外でも実施している学校の割合は、小中いずれも全国平均よりも高い。(帯広市の中学校は全ての学校で全学年が新体力テストを実施している)

※ () は全国との差

	小学校 (第4学年)	中学校 (第1学年)
H27 帯広市	92.3 (+9.8)	100.0 (+7.4)
H27 全国	82.5	92.6

10. 改善に向けた帯広市の取組

〔成果と課題〕

本調査の結果から、最近の本市の状況として、次のような成果と課題が明らかになった。
〔体力の傾向から〕

- 小学校において、全国平均を上回ったのは男女ともに「握力」「長座体前屈」「反復横とび」「立ち幅とび」の4種目(前年比+1)と、男子は「ソフトボール投げ」「体力合計点」であり(前年比+1種目)、小学校では男子と女子の体力・運動能力は高い傾向があり、特に男子については体力合計点も全国を上回るなど運動能力が高い。
- 中学校において、全国平均を上回ったのは男子の「握力」「長座体前屈」「20mシャトルラン*」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」の5種目(前年比+2種目)であるが、女子については全国平均を上回った種目がなく(前年同様)、特に中学校の女子の体力・運動能力に課題が見られる。
(*は選択種目)

〔児童生徒質問紙、学校質問紙から〕

- 小中学校ともに「運動が好き」「運動は大切」と答えた児童生徒の割合は、全国よりも高い。
- 全ての種目で全国平均を下回った中学女子であるが、上記の質問以外にも「運動が得意」「体力に自信がある」「卒業後も自主的に運動したい」「体育の授業は楽しい」と答えた生徒の割合は全国よりも高く、運動に対して好意的である。
- 小中学校ともに、ほとんどの学校で、体力・運動能力を向上させるための目標を設定し、具体的な取組を行っている学校が多い。

以上のことから、次のことを各学校へ働きかけ、教育活動等の充実を図る。また、引き続き関係部署、関係機関等と十分に連携を図り、子供を対象とした地域行事(自治会主催の運動・スポーツ行事など)の活性化を図るとともに、子供の生活習慣・運動習慣の改善に向け、家庭や地域への啓発活動に努める。

- ◆各学校が本調査結果の分析により自校の児童生徒の体力・運動能力の課題を明らかにし、「知・徳・体」の調和のとれた学校教育活動の充実を図るための根拠として活用し、体力・運動能力や運動習慣等の向上に継続して取り組むこと。
- ◆児童生徒の体力・運動能力の実態を明らかにするため、全校で新体力テストを実施し、継続的な取組を行い、その結果と分析を指導に生かすこと。
- ◆体育の授業において、一定程度の運動量を確保した授業改善を行い、児童生徒の体力の向上に努めること。
- ◆引き続き各学校の実態に応じた、体力向上に向けた「1校1実践」の取組を実施すること。
- ◆幼保小中の連携を意識し、義務教育9年間を見通した体力向上に組織として取り組むこと。
- ◆帯広市PTA連合会と連携してノーテレビデー(SNS、携帯電話)等の取組を行い、親子で一緒に身体を動かすことや、児童生徒の体力や健康と家庭生活のあり方の結びつきについて啓発するなど、家庭や地域社会と連携した取組の一層の充実を図ること。